

藤岡市障害者活躍推進計画に基づく取組の実施状況

障害者の雇用の促進等に関する法律第7条の3第6項の規定に基づき、令和6年度における取組状況を公表します。

なお、本公表をもって、同法第40条第2項の規定に基づく令和7年6月1日現在の障害者である職員の任免状況の公表とします。

計画策定機関

市長部局、教育委員会、監査委員

評価年度

令和6年度

【目標】

①採用に関する目標

基準日※1	法定雇用障害者数の算定の基礎となる職員数	障害者の数	実雇用率 (法定雇用率)	不足数
令和7年6月1日	817.5人	22.5人	2.75% 2.8%	0人
令和6年6月1日	787.5人	17.5人	2.22% 2.8%	4.5人

※1 毎年6月1日時点の障害者任免状況通報に基づく実雇用率等を掲載しています。

上記障害者雇用の詳細は、以下のURLから障害者任免状況通報書をご覧ください。

<https://www.city.fujioka.gunma.jp/soshiki/somubu/shokuin/1/1694.html>

②定着に関する目標

目標	実績
不本意な離職者を極力生じさせない。	令和6年度中の離職者はなし。 令和6年4月1日採用実績はなし。 令和6年度中の中途採用はなし。

③満足度、ワーク・エンゲージメントに関する目標

令和6年9月に障害のある職員に対して満足度、ワーク・エンゲージメントに関することのほか、障害特性への配慮等についてアンケート調査（以下「アンケート調査」という。）を行いました。

項目	回答	実績	前年度比較
満足度	満足・やや満足	100.0%	8.0%増
ワーク・エンゲージメント※2	満足・やや満足	67.0%	8.0%減

※2 ワーク・エンゲージメント(仕事への積極的関与の状態)とは、「仕事にやりがいや誇りを感じている」(熱意)、「仕事に熱心に取り組んでいる」(没頭)、「仕事から活力を得ていきいきとしている」(活力)の3つが揃った状態として定義されているものです。

【取組内容】

①障害者の活躍を推進する体制整備

(1) 組織面

機関名	取組状況
市長部局	障害者雇用推進者（職員課長）を選任している。 障害者職業生活相談員（職員課厚生研修係長）を選任している。
教育委員会	障害者雇用推進者（教育総務課長）を選任している。 障害者職業生活相談員（教育総務課教育総務係長）を選任している。

機関名	取組状況
市長部局	藤岡市障害者雇用推進委員会開催 ・令和6年8月 計画の取組実施状況の報告、公表
教育委員会	・令和7年1月 計画の取組実施状況の点検

(2) 人材面

機関名	取組状況
市長部局	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の社会参加や多様性に基づいた共生社会を創るため、対話型及び発見型の研修によって職員の意識を変え、差別の撤廃と合理的配慮について理解を深めるためDET研修を実施した。
教育委員会	

②障害者の活躍の基本となる職務の選定・創出

機関名	取組状況
市長部局	令和7年度より職員課内に「障害者チーム」を発足し、各部署から依頼を受けた業務（封入封緘作業、清掃業務等）に対し、職員の派遣等を行う取り組みを開始する予定。その取り組みの実施に向け、障害者チームの執務室を関係団体及び関係部署と協議し、準備を進めた。また令和6年度中に、各課の既存業務から切り出し可能な業務の調査について再度実施。
教育委員会	

③障害者の活躍を推進するための環境整備・人事管理

(1) 職務環境

機関名	取組状況
市長部局	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査で意見を聴取し、業務内容等について検討を行った。 職員の胸部レントゲン検診について、障害者の要望を踏まえ、障害の特性に配慮した措置を講じた。
教育委員会	

(2) 募集・採用

募集・採用に関しては、市長部局において全機関を一体として行っています。

機関名	取組状況
市長部局	<ul style="list-style-type: none"> 職員採用試験案内の障害者採用について、採用試験申込書の中に試験実施上の配慮を希望する場合の記入欄を設けている。 障害者就業支援機関に登録している障害者の職場実習を受入れた。（職場実習の前に、実習生と群馬県労働局職員対策課・障害者就業支援機関の担当職員と業務のマッチングを行った。） 採用にあたり群馬県労働局職員対策課・障害者就業支援機関の担当職員と協議を行った。 令和7年2月に学習センターにて開催された障害者面接会にてPRを行った。
教育委員会	

(3) 働き方

機関名	取組状況
市長部局	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な通院による休暇を取得しやすいよう、病気休暇を時間単位で取得できるようにしている。 会計年度任用職員については、本人の希望に応じた個々の障害の状態や働き方に対応した勤務時間としている。
教育委員会	

(4) キャリア形成

目標	実績
本人の希望を踏まえつつ、各種研修の実施を検討する。	アンケート調査において、研修の希望はなかった。

(5) その他の人事管理

機関名	取組状況
市長部局	・状況把握や体調について面談を行った。 *アンケート調査における面談実施についての調査結果 定期的な面談を希望する 0 % 面談の要請があれば応じる 45 % 面談が必要な場合に自ら希望する 11 % 希望しない 33 % 無回答 11 %
教育委員会	